

第6学年1組 国語科学習指導案

平成28年 10月19日(水) 2校時

指導者 教諭 井上 竜一

場 所 6年教室

1 本研究授業の提案

登場人物の心情の変化に気付かせ、自分の考えを発表し合い交流することで、主題に向かってより考えを深めさせる。

2 本研究の授業技術課題

人物同士の関係を見取ったり、各時間ごとの学習内容をまとめたりするために、人物関係図を活用する。

3 単元名 海のいのち

4 単元の目標

物語が自分に最も強く語りかけてきたことは何かを考えることができる。

5 指導計画(本時 7/9時間)

時	主な学習活動	単元の評価規準
①	○単元の学習課題を知り、学習の見通しを立てる。	【関心・意欲・態度】 考えを伝え合うことに意欲的に取り組もうとしている。
②	○全体の構成をとらえ、山場を見つける。 ○山場で何が変化しているのかを考える。	
	○場面ごとに物語を読み取る。	【読むア】 太一や与吉じいさの思いが伝わるように音読している。 【読むエ】 太一の心情や他の人物との関係を捉え、考えをまとめている。 【読むオ】 太一の心情の変化について考えたことを発表し合い、考えを広げたり深めたりしている。
③	・第一場面を読み取る。	
④	・第二場面を読み取る。	
⑤	・第三場面を読み取る。 ・第四場面を読み取る。	
⑥	・第五場面を読み取る。(1)	
⑦	・第五場面を読み取る。(2) 本時	
⑧	・第六場面を読み取る。	【書くカ】 書いた意見を発表し合い、友達の意見を読み取りながら助言し合っている。 【読むオ】 題名について考え、考えを広げている。
⑨	○物語が自分に最も強く語りかけてきたことは何かについて考え、交流する。 ○「海のいのち」という題名について考える。	

6 本時の展開

(1) ねらい

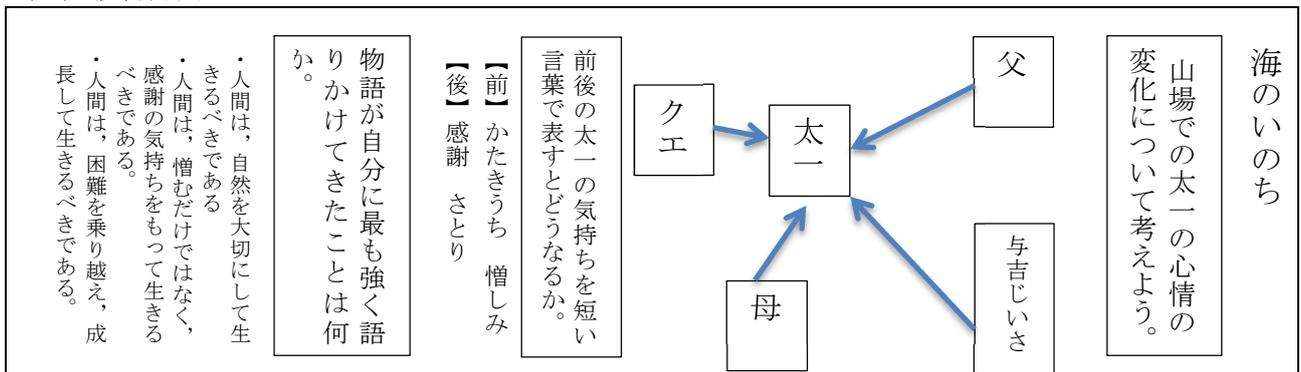
- ・山場での太一の心情の変化について考える。
- ・第9時間目の交流に向けて、自分の考えをまとめる。

(2) 指導過程

学習活動	指導事項・留意点・評価
1 前時までの学習を振り返る。 ・5場面の中で太一がどの文で大きく変わったのかを確認する。 ○「水の中で太一はふっとほほえみ、口から銀のあぶくを出した。」	・前時で行った読み取りの内容を想起させる。

<p>2 本時の学習課題を知る。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 山場での太一の心情の変化について考えよう。 </div>	<ul style="list-style-type: none"> 太一がどのように変わったのかを読み取り、最後には物語が自分に最も強く語りかけてきたことは何かを考えることを知らせる。
<p>3 「水の中で太一はふっとほほえみ、口から銀のあぶくを出した。」の前後で、太一はどのように変わったのかを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 前の太一 <ul style="list-style-type: none"> ○父のかたきを打ちたい太一 ○瀬の主を殺そうとしている太一 後の太一 <ul style="list-style-type: none"> ○瀬の主を父と思っている太一 ○瀬の主を殺さないですんだ太一 	<ul style="list-style-type: none"> ○○○（という）太一，という型を提示し，変化の前後の太一の気持ちを考えることができるようにさせる。 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> ※学習の進み具合によっては，この部分を前時に指導することもある。 </div>
<p>4 前後の太一の気持ちを短いことばで表すとどうなるかを考える。</p> <p><前の太一></p> <p>○かたきうち ○憎しみ ○悲しさ ○必死 ○感情的 ○苦しい ○怒り</p> <p><後の太一></p> <p>○やわらかい ○落ち着いている ○感謝 ○自然 ○感動 ○楽 ○さとり ○ゆるし ○ほっとする ○安堵 ○和解</p> <p style="text-align: center;">等々</p>	<ul style="list-style-type: none"> なぜそのことばにしたのか，本文中の表現に立ち返って説明できるようにさせる。 個人で気持ちを表す言葉を付せん書き，それをグループで共有することで，自分では気付かなかった太一のより深い気持ちに気付かせたい。 似た言葉はまとめたり，良いと思う言葉を選んだりするなどの話し合いの視点を与える。
<p>5 物語が自分に最も強く語りかけてきたことは何かを考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 人間は，自然を大切に生きていくべきである。 人間は，自然に感謝して生きていくべきである。 人間は，憎むだけではなく，感謝の気持ちをもって生きていくべきである。 人間は，困難を乗り越え，成長して生きていくべきである。 	<ul style="list-style-type: none"> 5場面だけではなく，単元を通して学習した内容も使いながら書くことができるようにさせる。 書けない児童への配慮として，書き出しや，結びの型も提示する。
<p>6 次時以降の予告を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> 第9時目に本時の最後で考えた主題を交流し，深め合うことを知る。 	<ul style="list-style-type: none"> 本時では主題について深く話し合うことはせず，紹介程度にとどめる。第9時で深め合うことを知らせる。

(3) 板書計画



(4) 本時の評価

<p>具体的評価基準</p>	<p>筆者が物語を通して読者に強く語りかけたいことは何かを考え，表現することができる。(観察・ノート・発言)</p>
<p>Aと判断する姿</p>	<p>筆者が物語を通して読者に強く語りかけたいことは何か，授業で考えた内容を基に，適切なことばで表現することができる。(観察・ノート・発言)</p>
<p>Cへの手だて</p>	<p>太一の気持ちを表した短い言葉をキーワードとして考えるように支援する。</p>

